

オリコンサル

PPPで響灘緑地にキャンプ場 遊びながら学ぶ空間創出



イメージパース

オリエンタルコンサルタンツは、指定管理者を務めている都市公園の北九州市立響灘緑地／グリーンパークに、PPP事業としてキャンプ場「HIBIKINADA CAMP BASE（仮称）」を整備する。「防災」「食育」「SDGs（持続可能な開発目標）」などをテーマに、ワークショップやイベントに積極的に取り組み、キャンプを通じて学び体験できる環境を創出する。2023年3月の

オープンを予定している。

同社と福岡放送の共同事業として「響灘アーバンアウトドアパートナーズ」を組成。PPP事業として、「遊び感覚で楽しみながら学べる空間」をコンセプトに、同社が14年度から指定管理するグリーンパークに整備・運営する。

キャンプ場面積は約1万6000平方メートルを予定。電源付きオートサイト、フリーサイト合わせて58区画の宿泊サイトと、管理棟とシャワー設備などを備えた炊事棟各1棟などを設ける計画だ。建築デザイン・設計は建築家で九大大学院准教授の末光弘和氏（SUEP・共同主宰）、ランド

スケープ・土木設計はオリエンタルコンサルタンツがそれぞれ担当する。工事期間は10月から23年2月まで。事業手法は都市公園法による設置管理許可で10年間を予定している。